

# 新しい風

倉敷市立琴浦南小学校

平成27年 5月8日

No.4

今号から題字は6年生児童です

## 委員会活動 (少しずつ) 充実！！

前号で給食委員会の子どもの様子を紹介しましたが、他の委員会でも同じようにきちんと活動し、責任を果たす5年生、6年生の姿が増えています。とてもうれしいことです。飼育栽培委員会は、休み時間の水やり、うさぎの世話などの当番活動にまじめに取り組んでいます。こんな子どもたちは、職員室に入る時も礼儀正しく、用件をきちんと伝えています。

また、今体育館前の楠が枝や葉を落としています。入学式準備以降、環境委員会の子どもたちが気にかけては時々はき掃除をしています。先日はこんなこともありました。朝、一人の女子が、下足箱で男子を呼んでいました。しばらくすると、二人で幹のまわりのはき掃除を始めました。「おはよう。」「まあ、ありがとうなあ。」出勤してくる職員ともあいさつが交わされます。底力を感じたのは、始業の音楽が流れ始めた頃、3名の男子がそこに加わったことです。すごいことです。感心しました。その日、最初に始めた2人も、後から加わった3人にも大きな拍手を送りたくくなりました。

5月1日遠足の日には、2名の女子が同じようにはいていました。遠足当日でしたが、本当にていねいに、時間ぎりぎりまでです。6年生の子どもたちの姿を誇りに思いました。

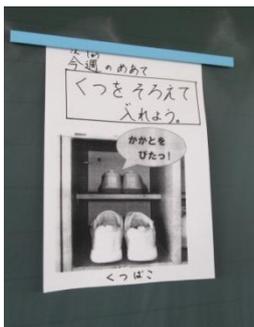
子どもたちの一生懸命な姿を見ると応援したくなります。まじめにすること、正義が成り立つこと、良いと思ったことが素直に表現できること……。大きなうねりが学校全体を動かし始めています。

## スーパーマンではないけれど

5年生は海の学習、参観日、遠足と少々ハードな月末となりました。担任はもちろんですが、養護教諭、教務主任といった職員にとってもハードな日々となりました。泊を伴う行事で学校を空けるとその間に文書が（本当に）山のように届きます。帰校してほっとする間もなく当日も処理に追われます。職員もくたくたです。決してスーパーマンでも映画のヒーローでもありません。それでもやりきれるのは、「この子のためなら」「この子だから」と思える何かがあるからです。

遠足当日の朝、はしを忘れた5年生がいました。職員の一部（担任ではありません）がそれを知り、割りばしを1膳渡しました。慌ただしい当日の朝でしたが、出発前にその子が『はし、ありがとうございました。』と言いに来た。———ということが職員室で話題になりました。話す職員はとても嬉しそうです。なぜか、その話を聞いている職員もうれしそうです。大きくうなずく者も。たった1つの朝の小さな出来事がこんなふうにはほほ笑みを広げることにつながっています。「この子のためなら……」そう思えるひとときでした。

『はし、ありがとうございました。』———きっと心の中の一番きれいなところからでた言葉……。



## 小さな一歩

週目標

『くつをそろえて入れよう』

かかとをぴたっ！

ささやかなことですが、こんなことにも目を向けています。校内へお越しの際はぜひご覧ください。